

1 経済日誌

2019年12月～2020年3月

全 国		和歌山・大阪	
12月13日	景況感 4期連続悪化 日銀が発表した12月の、大企業製造業の景況感を示すDIはゼロとなり、9月の前回調査から5ポイント悪化した。悪化は4四半期連続となった。	12月20日	万博 4月13日開幕決定 政府は、2025年国際博覧会（大阪・関西万博）の会期を2025年4月13日から10月13日までとすることを定めた「登録申請書」を閣議決定した。
12月20日	予算 2年連続 100兆円超 政府が閣議決定した2020年度当初予算案の総額は、102兆6580億円と過去最大を更新した。一般会計の総額が100兆円を超えるのは2年連続となる。	1月9日	大阪オフィス空室率 過去最低 オフィス仲介の三鬼商事が発表した2019年12月の大阪中心部のオフィス空室率は、1.82%と前月比で0.09%低下し、過去最低を更新した。
1月1日	日米貿易協定が発効 日米貿易協定が発効した。同協定は、TPP、日欧EPAに続く大型協定で、世界の国内総生産（GDP）の約3割を占める経済大国同士の協定となる。	1月17日	みかん産出額 4年連続日本一 和歌山県は、2018年度のみかんの生産量が15万5600トンで15年連続日本1位、産出額は308億円で4年連続日本1位となったと発表した。
1月10日	訪日客 最多 3188万人 国土交通省は、2019年の訪日外国人旅行者が前年より70万人（2.2%）増え3188万人だったと発表した。7年連続で過去最高を更新した。	1月28日	経済波及効果 100億円 和歌山県は、2019年11月9日～12日に開催された「ねりんピック紀の国わかやま」の経済波及効果が約100億9700万円だったと発表した。
1月23日	貿易収支 2年連続赤字 財務省が発表した2019年の貿易統計によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1兆6438億円の赤字となり、赤字は2年連続となった。	2月7日	日本製鉄和歌山製鉄所 高炉 1基休止 日本製鉄は、2022年9月末までをめぐりに和歌山製鉄所の高炉1基を休止、2023年9月末をめぐりに子会社日鉄日新製鋼の呉製鉄所を閉鎖すると発表した。
2月1日	新型コロナウイルス 指定・検疫感染症に指定 新型コロナウイルスによる感染症を指定感染症と検疫感染症とする政令が施行された。消費低迷、サプライチェーンの停滞など経済への影響が出ている。	2月28日	国土交通省 なにわ筋線の工事施工を認可 国土交通省は、大阪市を南北に走る新線「なにわ筋線」の工事施工を認可した。整備主体の関西高速鉄道は2020年度にも着工し、2031年春の開業を目指す。
2月28日	求人倍率 大幅低下 厚生労働省が発表した1月の有効求人倍率は、前月から0.08ポイント下がり1.49倍だった。1.50倍を下回るのは2017年5月以来となる。	2月28日	近畿の求人倍率 急低下 厚生労働省が発表した1月の近畿の有効求人倍率は前月比0.09ポイント低下の1.50倍だった。大阪府は0.11ポイント、和歌山県は0.12ポイントの低下となった。
3月9日	中国、韓国から入国制限を発動 政府は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中韓からの入国者に対して2週間の待機の要請のほか、発給済みの査証（ビザ）の効力を停止させた。	3月16日	和歌山県 観光客数 最多 3543万人 和歌山県は、2019年に県内を訪れた観光客が前年比2.4%増の約3543万3千人となり、過去最高だった2016年（約3487万人）を上回ったと発表した。
3月24日	東京五輪 2021年夏に延期 国際オリンピック委員会（IOC）は、臨時理事会を開催し東京五輪・パラリンピックの1年程度延期を決定した。	3月18日	大阪府下商業地 7年連続上昇 国土交通省が公表した公示地価（2020年1月1日）で、大阪府下の商業地の平均変動率は7.7%と7年連続の上昇となった。

2 地域開発のうごき

2019年12月～2020年3月

和歌山県内

12月21日 避難困難地域を解消

御坊市は、沿岸部の新町地区に690人が避難できる津波避難タワーを整備し、竣工式が行われた。同市内3基目で、南海トラフ地震クラスを想定した津波避難困難地域は解消された。

12月26日 子育て支援複合施設が完成

和歌山市の子育て支援複合施設が本町地区に完成し竣工式が行われた。こども総合支援センターは2020年1月6日に業務を開始、4月には本町こども園が開園する。

1月8日 海南駅北駐車場用地に宿泊施設を誘致

海南市は、JR海南駅（西口）に隣接する海南駅北駐車場用地南側の一部（約2300㎡）に宿泊施設を整備するため、土地利用事業者を募集する公募型プロポーザルを公示した。

2月3日 協和プレス工業が和歌山市に新工場を増設

和歌山県は、協和プレス工業が和歌山市に新工場を増設するにあたり、立地協定を締結すると発表した。設備投資額は6億9千万円、40名を新規雇用、2020年9月の操業開始予定。

2月3日 ライオンケミカルが有田市及び有田川町に工場を増設

和歌山県は、ライオンケミカルが有田市及び有田川町に2つの新工場を増設するにあたり、立地協定を締結すると発表した。設備投資額は13億91百万円、2021年2月の操業開始予定。

2月6日 「キーノ和歌山」全面開業

和歌山市は、南海和歌山市駅で開発が進む複合施設「キーノ和歌山」の開業が4月24日に決まったと発表した。施設の商業ゾーンと同時に市民図書館がオープンする。

2月18日 白浜に高級ホテル進出

和歌山県は、京都プラザホテルズが富裕層向け宿泊施設を新たに開業すると発表した。木造2階建て、延べ床面積約1980㎡、客室数24室、12月中旬開業を予定。

3月7日 架け替えの恋野橋開通

橋本市の紀の川に架かる県道山内恋野線・恋野橋（同市隅田町）が開通した。完成から約65年たって老朽化が進んだ旧橋に代わり、県が2012年度から架け替えを進めていた。

3月28日 西脇山口線が全線開通

和歌山市北部を東西に横断する都市計画道路西脇山口線について、最後の区間が完成し全線で供用を開始した。完成は4車線のうち2車線で暫定供用となる。

3 地域開発のうごき

2019年12月～2020年3月

大阪府内

12月1日 新歌舞伎座跡にホテルが開業

ベルコは、2009年に閉館した難波の新歌舞伎座跡に、「ホテルロイヤルクラシック大阪」を開業した。ホテルは、地下1階、地上19階までの20フロアで構成され客室数は150室。

12月11日 JR大阪駅西側 新駅ビルと複合ビルを建設

JR西日本は、大阪駅西側に新駅ビルを新設するほか、大阪中央郵便局跡地に劇場、ホテル、商業施設などが入居する高層複合ビルを建設すると発表した。2024年の開業を目指す。

12月11日 西日本最大級ホテルを建設

アパホテルを展開するアパグループは、難波に34階建てのタワーホテルを2023年秋に開業すると発表した。客室数は2064室と、西日本最大級となる。

12月25日 先端医療拠点3社連合発表

日本生命と京阪HD、関電不動産開発は、北区中之島に整備される「未来医療国際拠点」の開発事業者として選ばれたと発表した。2023年12月の完成を目指す。

1月20日 高島屋東別館がホテルにリニューアル

昭和初期に建てられた浪速区日本橋にある国の有形文化財「高島屋東別館」が、滞在型ホテル「シタディーンなんば大阪」としてリニューアルオープンした。

1月31日 枚方市でマルチテナント型物流施設を着工

東急不動産は、三菱UFJリースほか1社とマルチテナント型物流施設「(仮称)CPD枚方」を2月1日に着工すると発表した。延べ床面積約82,000㎡、2021年5月末の竣工を予定。

2月13日 みさき公園が閉園

南海電鉄は、泉南郡岬町で運営する総合遊園地「みさき公園」を3月末で閉園すると発表した。1957年にオープンし、年間来場者はピーク時約72万人を記録した。

2月27日 「(仮称)箕面ロジスティクスセンター」を開発

オリックス不動産は、箕面市で延床面積63,700㎡の大型物流施設「(仮称)箕面ロジスティクスセンター」を開発すると発表した。2020年11月着工、2022年3月の竣工を予定。

3月12日 関空対岸にレジャー施設

大和リースは、泉南市りんくう南浜にスポーツ・食・レジャーを体験できる関西最大級のレクリエーション施設「泉南りんくう公園」を4月28日にオープンすると発表した。

4 関西国際空港

2019年12月～2020年3月

関西国際空港

12月10日 関西エアポート 中間連結決算 増収増益

関西エアポートが発表した2019年4-9月期の連結決算は、営業収益が前年同期比14%増の1198億円、中間純利益が122%増の255億円となった。

12月12日 関空 国際線受入大幅増強へ

関西エアポートは、第1ターミナルの大規模改修を2020年末に着工すると発表した。約700億円を投じて国際線エリアを拡充し、2025年春までに完成の予定。

12月15日 りんくうタウン駅直結のホテルが開業

ホテルマネジメントジャパンは、JRと南海電鉄のりんくうタウン駅直結の新ホテル「オリエンタルスイツエアポート 大阪りんくう」を開業した。SiSりんくうタワー内にあり全258室。

12月26日 関空 - 奄美線が就航

ピーチ・アビエーションは、関西を発着する唯一の直行便となる関空 - 奄美線を就航した。運航は1日1往復。

1月15日 関空 - 連雲港 - 北京・大興線を新規就航

中国聯合航空は、関空 - 連雲港 - 北京・大興線を2月21日から週2便で運航する。関空 - 北京・大興間を運航するのは同社が初めてとなる。

1月24日 関空旅客 初の3000万人

関西エアポートは、2019年の関空の総旅客数が前年比10%増の3191万人だったと発表した。1994年の開港以来、初めて年間で3000万人を超えた。

1月30日 関空 - モスクワ線が新規就航

関西エアポートは、アエロフロート・ロシア航空が関空 - モスクワ線を6月2日から週4便で就航すると発表した。関空 - モスクワ線は、2003年に撤退して以来17年ぶりの運航となる。

3月1日 関空 - チューリッヒ線が就航

スイスインターナショナルエアラインズは、関空 - チューリッヒ線を就航した。運航は週5便で、関空とスイスを結ぶ直行便の運航は18年ぶりとなる。

3月10日 関空、外国人入国66%減

大阪出入国在留管理局の関西空港支局は、2月に関空から入国した外国人数（速報値）が22万9千人と前年同月比66%減ったと発表した。

3月23日 関空国際線9割欠航

関西エアポートは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により3月23日から28日に運航予定だった関空発着の国際線1220便のうち、91%の1107便が欠航すると発表した。